

1 サンザシ

2 確認試験の項を次のように改める。

3 確認試験

4 1) *C. cuneata*に由来 本品の粉末1.0 gにメタノール5 mL
5 を加えて30分間振り混ぜた後、遠心分離し、上澄液を試料
6 溶液とする。別に薄層クロマトグラフィー用ルチン1 mgを
7 メタノール20 mLに溶かし、標準溶液とする。これらの液に
8 つき、薄層クロマトグラフィー (2.03) により試験を行う。
9 試料溶液及び標準溶液10 μ Lずつを薄層クロマトグラフィー
10 用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に
11 酢酸エチル／2-ブタノン／水／ギ酸混液(5 : 3 : 1 : 1)を展
12 開溶媒として約10 cm展開した後、薄層板を風乾する。これ
13 に希硫酸を均等に噴霧し、105℃で5分間加熱した後、紫外
14 線(主波長365 nm)を照射するとき、試料溶液から得た数個
15 のスポットのうち1個のスポットは、標準溶液から得た緑色
16 の蛍光を発するスポットと色調及び R_f 値が等しい。また、 R_f
17 値0.5付近に1個又は2個の標準溶液から得たスポットと同様
18 の緑色の蛍光を発するスポットを認める。これらのスポット
19 は放冷するとき徐々に薄くなり、薄層板を再加熱後に紫外線
20 (主波長365 nm)を照射するとき、再び蛍光を発する。

21 2) *C. pinnatifida* var. *major*に由来 本品の粉末1.0 gにメ
22 タノール5 mLを加えて30分間振り混ぜた後、遠心分離し、
23 上澄液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフィー用ヒ
24 ペロシド1 mgをメタノール20 mLに溶かし、標準溶液とす
25 る。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー (2.03) に
26 より試験を行う。試料溶液及び標準溶液10 μ Lずつを薄層ク
27 ロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にス
28 ポットする。次に酢酸エチル／2-ブタノン／水／ギ酸混液
29 (5 : 3 : 1 : 1)を展開溶媒として約10 cm展開した後、薄層板
30 を風乾する。これに希硫酸を均等に噴霧し、105℃で5分間
31 加熱した後、紫外線(主波長365 nm)を照射するとき、試料
32 溶液から得た数個のスポットのうち1個のスポットは、標準
33 溶液から得た緑色の蛍光を発するスポットと色調及び R_f 値が
34 等しく、このスポットの直上に同様の蛍光を発する1個のス
35 ポットを認める。これらのスポットは放冷するとき徐々に薄
36 くなり、薄層板を再加熱後に紫外線(主波長365 nm)を照射
37 するとき、再び蛍光を発する。

38